

フジコナカイガラムシ情報第1号

(カキ、ナシ、ブドウ)

令和8年4月30日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 齢幼虫発生ピークは5月22日から6月1日です。
適期を逃さないよう防除しましょう！

1 発生ピークの予測

有効積算温度を利用したフジコナカイガラムシ第1世代1齢幼虫の発生ピーク予測日は、5月22日から6月1日で、前年より早いと予測します(表)。

表 フジコナカイガラムシの第1世代1齢幼虫発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖
本年	5/28	6/1	5/22	5/23	5/27	5/28	5/25	5/26	5/30	5/28
前年	6/2	6/6	5/29	5/29	6/2	6/3	5/30	6/2	6/4	6/2
前年差	5日早	5日早	7日早	6日早	6日早	6日早	5日早	7日早	5日早	5日早

アメダス平均気温から予測。4月29日までは本年実測値を、それ以降は平年値から+0.4℃補正した値を用いて計算。補正値は気象庁発表の向こう1か月の気温予測データを参考にした。前年は、前年気温の実測値を用いて計算。

2 フジコナカイガラムシ(カキ、ナシ、ブドウ等に寄生)の防除適期

フジコナカイガラムシの卵のう(図1左)、成虫(図1中央)、2、3齢幼虫はろう物質に覆われ薬液をはじいてしまうため、農薬による防除効果はほとんど期待できません。防除適期は、ろう物質に覆われない1齢幼虫(図1右)の時期に限られます。そのため、1齢幼虫発生時期が揃っている第1世代1齢幼虫の発生ピークを把握し、防除することが重要です。

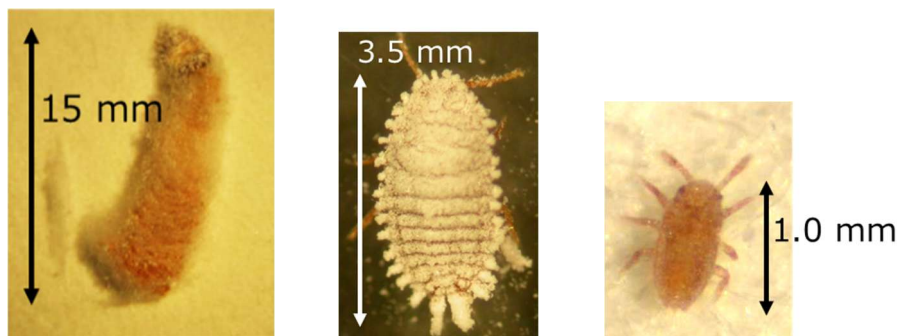


図1 フジコナカイガラムシの卵のう(左)、成虫(中央)、1齢幼虫(右)

3 ふ化状況の確認

フジコナカイガラムシのふ化時期は、地域やほ場によって若干異なります。そのため、各ほ場内の卵のふ化状況を確認して防除適期を把握することが重要です。

【ふ化状況確認方法】

- (1) 表の1齢幼虫発生ピーク予測日の10日前頃に卵のうが多く産卵されるので、前年発生が多かった樹の剪定傷跡や粗皮の隙間から、卵のう（図1左）を2から3個採取します。
- (2) 卵のうをシャーレ等の容器の中心におき、容器の縁にワセリン（軟膏やハンドクリームでも可）を塗り、容器を直射日光が当たらない場所に置き、毎日ふ化状況を確認します（図2）。
- (3) 卵のうからふ化した1齢幼虫がワセリンに多数付着し、歩行している1齢幼虫も多く見られるときは、1齢幼虫の発生ピークです（図2、3）。



図2 1齢幼虫発生状況の確認



図3 ワセリンに付着した1齢幼虫

4 防除方法

- (1) 防除適期は、1齢幼虫の発生時期が揃う第1世代1齢幼虫発生ピークです。
表の第1世代1齢幼虫の発生ピーク予測日や上記の【ふ化状況確認方法】により各ほ場の1齢幼虫発生ピークを把握して、防除を実施しましょう。
- (2) 散布むらがないように、十分な薬液量で丁寧に散布しましょう。